

※新しい情報を加えて4月9日に更新しました。

2020年4月9日

社会学部生のみなさん

新年度のお願い

社会学部長 山田 容

例年ならば、この時期は新入生を迎え、サークルの勧誘や友との再会などにぎわいにあふれているキャンパスが今年は閑散としています。このような光景に接すると、寂しく、やるせない気持ちになってしまいます。

しかし、打ちひしがれてばかりはいられません。この状況下での最善の方策をとることが私たちに課せられています。みなさんのかけがえのない大学時代を守るために教職員もできる限りのことを模索していきます。非常事態なので上手く対処できないことも出てくるでしょう。そのような時は、相互に調整しつつ状況の改善をしていきましょう。この困難をともに乗り越えていくために求められているのは、闘う力ではなく共同です。

そこで、みなさんにもふたつのお願いがあります。

1. 学修について

◎履修登録を進めて下さい。

◎「manaba」で課題等を確認してください

大学にとって学生の学修の保証は最も重要な役割であり、その方法についての検討を進めています。できるだけ学修の質を落とさないように教員も対応していきます。

まず履修登録を進めて下さい。履修要項をよく読んで、必修科目や資格に必要な科目の履修には注意して下さい。方法がわからなければ社会学部教務課に問い合わせして下さい。

(TEL : 077-543-7760、e-mail : shakai@ad.ryukoku.ac.jp)

授業に関しては、各教員から教員と学生の情報共有のためのweb上のツールであるmanabaを通して、課題や指示が出されることになっています。履修登録をしたらmanabaにアクセスをして、課題などの確認をしてください。

manabaへのアクセスについては、ポータルサイトからログインできます。manabaの利用方法については、大学ホームページ「新入生特設サイト」で説明しています。

(<https://www.ryukoku.ac.jp/news/detail/202004/freshers.html>)

manaba は、授業ごとに設定されていますが、様々な情報発信用にそれぞれの学科または学年ごとの manaba もこれから設置していきますので、そこにもアクセスして下さい。

5月11日から全面的にオンライン授業に移行することになりました。これは5月11日からすべての授業がオンライン化されるという意味で、授業によってはより早い時期からオンライン化されます。またオンライン授業の方法も授業によってちがいます。それらの各授業の情報についても各授業の manaba から発信されます。

(この情報を知らない人がいたら教えてあげて下さい。SNS 等でも発信して下さい。)

その際に重要となるみなさんの通信環境の問題や発信方法については、現在、検討しています。もれなくみなさんに情報が伝わり、安定した条件で授業ができるように努めていきます。

みなさんへの情報発信は、ホームページまたはポータルサイトで行いますので確認してください。(ポータルサイトの利用方法についても、大学ホームページ「新入生特設サイト」で確認できます。)

教職員も最善を尽くしますが、課題の設定や説明等の混乱が生じるかもしれません。その際は、教務課や manaba の機能を通して状況を教員に伝えて下さい。

2. 学内外での行動について

◎人との接触を極力避けて下さい — 家にいて下さい

みなさんの健康が害されることは何より避けて欲しいことです。様々な面で日常生活にも大きな影響が出る可能性もあります。仮にみなさんには健康被害が出なくとも、みなさんを介してご家族や友人・知人、その他接触する人達に感染が広がることもあります。

感染予防には密閉、密集、密接を避けることが重要です。4月9日から5月6日までの間、学生の大学への立入は原則としてできません。学内には立ち入らないようにし、履修登録や各種の問い合わせは電話や e-mail (TEL : 077-543-7760、e-mail : shakai@ad.ryukoku.ac.jp) を原則としてください。なお、必要な情報はホームページまたはポータルサイトに掲載していますので、まずは確認してください。

人と接触する際は換気に気をつけ、できるだけ距離をとって下さい。もちろん可能な限りマスクを着用して下さい。

教員との面談等もオンラインで行うことが原則になっています。密室での会話を求められるなど、教職員の行動に問題があれば教務課等に申し出て下さい。

学外においても、旅行や他者との飲食、宴会等は当面は行わないで下さい。

人と交流したい気持ちはよくわかりますが、いつか安心して気兼ねなく楽しめる日が来ますので、今は控えましょう。

おわりに

教職員も、一日でも早くみなさんの笑顔を見たいと願っています。大学で働く者たちにとって、学生のみなさんとの交流や成長を実感できることこそがやりがいであり、そのような条件、環境を作ることが使命です。

みなさんも、人と社会のつながりを考える社会学部生として、自分と他者、社会全体を守るために社会的な責任を自覚し、それぞれの行動がもたらす影響力を認識した行動を取って下さい。

やわらかくともつながりつづけること、できることで支え合うことが心身の健康を保つ力になります。今の状況は必ずいつか収まりますので、少しでも充実した大学生活が保てるように力を合わせていきましょう。